

● 草の根パートナー型

平成15年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	ミャンマー
2. 事業名	循環型共生社会の創造
3. 事業の背景と必要性	南シヤン州のボオー地域は1991年以前の地域紛争の影響などにより地域住民や政府による開発が滞っており、ミャンマーの中でも貧困地域のひとつにあたる。貧困と環境破壊が密接に関わっている同地域において、貨幣経済が農村へ波及した影響により、換金作物を生産しない農民は土地を失う危険に直面している。またこれは、近隣都市への人口流入による貧困層の増加の主な一因となっている。当地域においてはボオー族を主な対象とした土着菌堆肥を用いた循環型農業の研修活動が実施されてきたが、疲弊した農地や環境状態を復元し、自立した農村を回復・維持するために、この活動を継続・発展する必要が生じている。
4. 事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ● ミャンマー南シヤン州ボオー族の村々に循環型農業技術の普及がなされる。 ● 村落相互扶助システムが活性化される。
5. 対象地域	南シヤン州タウンジー郡
6. 受益者層	対象地における農民
7. 活動及び期待される成果	<p>成果1 循環型社会の創造のための農村指導者・農業専門家が育成される。</p> <p><活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1-1 タンポジ青少年育成センター運営 10代の若者達の農民リーダー育成を目的に寄宿プログラムが生まれ、デモファームでの土着菌堆肥を軸にした循環型農業の実践、植林による農場周辺の自然環境の回復などを通して技術・知識・理念の習得が行われる。 ● 1-2 ナウンカ農村開発センターの建設・運営 農村の将来を担うリーダーの将来の村落開発のための人材育成を行う。 <p>成果2 農民の安定的収入源として活用できる代替作物が導入される。</p> <p><活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2-1 食品加工研修生の日本派遣 タナへの代替作物として特に茶の有力視されており、茶の生産に関する技術移転を円滑に行なうために、現地の農村リーダーを九州の農家へ受け入れ、茶の加工技術の研修を実施する。 ● 2-2 ナウンカ農村開発センター敷地内に食品加工のための施設建設 <ul style="list-style-type: none"> ● 2-2-1 食品加工施設での開発 ● 2-2-2 代替作物の試験的栽培 ● 2-2-3 代替作物研修開催 ● 2-2-4 食品加工研修生への代替作物の農業指導 <p>成果3 持続的循環型社会のための適正技術・知識が普及される。</p> <p><活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3-1 ハムシ入植デモファームの建設・入植・運営 土着菌堆肥及び発酵床畜産に関する各種研修を実施する。 ● 3-2 ピンダヤ農民研修センターにて農民研修を開催 ● 3-3 小規模堰建設（知識普及のための環境整備）
8. 実施期間	2005年1月～2007年12月（3年間）
9. 事業費	第一年度契約金額：4,755千円（精算金額：4,494千円） 第二年度契約金額：19,779千円
10. 事業の実施体制	本邦：本団体プロジェクトマネージャー（タウンジー事務所）及びアドミニストレーター（ヤンゴン事務所）・国内調整員（佐賀県）等本邦スタッフ、現地にフィールドスタッフ等 相手国カウンターパート：ミャンマー国辺境開発省（NATALA） 事業地カウンターパート：PNO（パオー族自治組織）
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 地球市民の会
2. 活動内容	タイ・スリランカ・ミャンマーにおける教育・農村開発・水力発電事業等の国際協力活動、及び、佐賀県を拠点とした国際交流・地域づくり・地球共感教育のイベント・セミナーの実施
3. 対象国との関係、協力実績	2003年度より活動開始。これまでに当事業対象地区にて高校寮井戸建設、農業研修センターでの循環型農業研修、循環型農業デモファームの設置などを実施。